

## 第 24 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。  
問 1

原価の作業機能別分類とは、原価が企業経営を遂行した上で、どのような機能のために発生したかによる分類である。☆☆この分類は、計算目的別分類および発生形態別分類に基づいて区分けされた原価を、二次的に、さらに細分類するために利用されることが多い。☆  
たとえば、材料費は、主要材料費、修繕材料費等に、労務費は、監督者給料、直接作業工賃金等に、また経費は電力量を動力用電力料、照明用電力料等に分類する。☆  
原価を工種別に区分するという建設業独特の分類基準はこの作業機能別分類に属するものである。☆

問 2

組別総合原価計算とは、異種の製品を同一工場内で連続して見込生産する工企業に適用される製品原価計算の形態である。☆☆  
組別総合原価計算においては、各々の製品を組と呼び、各組の製品の単位原価を次のように計算する。  
まず、1 原価計算期間に発生する製造費用を、各組に直接跡づけることのできる組直接費と、各組に共通して発生する組間接費に区分する。☆次に、組直接費は各組に直接に賦課し、組間接費は適切な配賦基準によって各組に配賦する。☆そして、最後に各組の総合原価を各組の生産数量で割ってそれぞれの単位原価を計算する。☆

予想採点基準

☆の前の文の内容が  
正解で 2 点×10=20 点

〔第2問〕

記号(ア～シ)

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| オ | ク | カ | キ | ア |

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆…2点×5=10点

〔第3問〕

問1

大型クレーンの取得価額

¥  ☆☆☆

問2

A工事現場への当月配賦額

¥  ☆☆☆

問3

当月の損料差異

¥  ☆★ 記号(XまたはY)  ★

予想採点基準

☆…2点×5=10点

★…1点×4=4点

〔第4問〕

問1

第1年度

¥  ☆

第2年度

¥  ☆

第3年度

¥  ☆

第4年度

¥  ☆

問2

年 ☆★

問3

¥  ☆☆ 記号(AまたはB)  ★

予想採点基準

☆…2点×7=14点

★…1点×2=2点

〔第5問〕

問1

| <u>完成工事原価報告書</u> |        | 福島建設工業株式会社 |      |
|------------------|--------|------------|------|
| 自 平成×2年4月 1日     |        | (単位：円)     |      |
| 至 平成×2年4月30日     |        |            |      |
| I. 材料費           |        | 1,050,200  | ☆☆   |
| II. 労務費          |        | 397,352    | ☆☆   |
| III. 外注費         |        | 480,300    | ☆☆   |
| IV. 経費           |        | 393,850    | ☆☆   |
|                  | (うち人件費 | 202,070    | ) ☆☆ |
|                  | 完成工事原価 | 2,321,702  | ☆☆   |

問2

¥ 1,156,378 ☆☆

問3

- |               |   |       |   |           |   |    |
|---------------|---|-------|---|-----------|---|----|
| ① 材料副費配賦差異    | ¥ | 4,450 | ☆ | 記号(XまたはY) | Y | ☆☆ |
| ② 重機械部門費予算差異  | ¥ | 8,150 | ☆ | 記号(同上)    | X | ☆☆ |
| ③ 重機械部門費操業度差異 | ¥ | 4,000 | ☆ | 記号(同上)    | Y | ☆☆ |

— 予想採点基準 —

☆☆…2点×20=40点